

地域未来創造会議（天草地域）議事概要

- 1 日 時 令和7年1月14日（火） 15:30～17:10
- 2 場 所 アマクササインタカミングホテル2F ホール
- 3 出席者
 - (1) 市町村長
堀江上天草市長、馬場天草市長、山崎苓北町長
 - (2) 県議会議員（オブザーバー）
池田議員、山口議員、楠本議員、西村議員
 - (3) 県
[本庁]
木村知事、沖政策審議監、若杉地域振興課長、阿南市町村課長 他
[地域振興局]
増田本部長、大谷総務部長、清崎総務振興課長 他
- 4 議事内容
 - (1) 知事から ～天草地域の未来への想い～
 - (2) 市町村長から
 - (3) 意見交換
- 5 会議資料 別添のとおり

概 要

会議では、インバウンド対策、二地域居住、産業の担い手確保、高校の魅力化に関することが話し合われた。主な意見は次のとおり。

- ・ 時代によって観光客のニーズが変化している。市内の民間事業者の設備投資が続き、高付加価値化に舵を切っている。課題はインバウンドで、今後どのように取り込んでいくか考えていきたい。
- ・ 移住定住に力を入れている。この16年の移住者の定住率は83%となっており、今後は二地域居住にももっと力を入れていきたい。周遊性向上に向け、他の地域とも連携して、公共交通（海上交通含む）の見直しも行う。
- ・ 町の基幹産業の農林水産業の復活に向けて、町の堆肥センターで生産する有機質肥料の高付加価値化や、特定地域づくり事業協同組合に取り組んでいく。また、長崎・佐賀との広域観光にも取り組みたい。天草拓心高校の魅力化にも取り組みたい。
- ・ 高校の魅力を高め、地域活性化につなげるための更なる取り組みが必要。例えば、天草拓心高校の農業高専化や、寿司学科の創設、農福連携の推進、地域住民との交流拡大など。
- ・ 二地域居住を推進するにあたっては、デュアルスクール制度の整備が課題。家族連れでワーケーションに来られた方のこどもの受入れをどうするか。

今回の会議内容を基に、次の事項について引き続き県と市町村で事務的に今後の展開等を検討していくこととなった。

- (1) 高校のさらなる魅力化に向けて取り組むこと。
- (2) 国の制度等も活用した空き家対策等により、移住定住・二地域居住を推進すること。
- (3) 高付加価値化や人材確保の取り組みを通じた農林水産業の振興に取り組むこと。

(以上)